

## 「区自治協議会のあり方について」 個別意見とりまとめ

大項目	小項目	検討の方向性	意見	委員名
役割の明確化		<ul style="list-style-type: none"> <li>・役割をさらに詳しく明記する必要があるか</li> <li>・議論がしやすい環境にするにはどうしたら良いか</li> <li>・住民の声を吸い上げるにはどうしたら良いか</li> <li>・負担感と言われるものは何か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟市の自治協の役割を他の政令市の住民自治組織との比較もして明らかにする必要がある。</li> <li>・「報告事項が多い」「アリバイ作りになっている」等、区役所側に改善して欲しいこと、自治協委員側が改善・努力すべき事を明確にする必要がある。</li> </ul>	坂井委員
			自治協とコミ協はそれぞれ役割が異なっています。あえて役割分担を声高に言う必要はないのではないか。役割を詳しく明記する必要があるという意見ですが、明記するに無理があると言えます。 また、住民の声を吸い上げるにはどうしたら良いのかという議論については、各自治協委員が日頃から住民の声を意識して会議に臨めばそれで良いのではないかと考えます。	大谷委員
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・選出母体への本会後の最低限の役割 - 報告の義務。</li> <li>・本会や部会での役割 - 事業計画立案や実施に関わる。選出母体の活動や取組みの紹介。</li> <li>・住民の声を吸い上げる機会は、コミ協会長会と思う。自治協の大きな目的に掲げるなら、委員構成を考える必要がある。</li> </ul>	寺瀬委員
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治協に参加し、議論していく中で、行政担当、地域の委員の方々と意見交換し、コミュニケーションをとる事が重要です。議論し、互いに共感する事が出来れば、地域で実行すれば良い。協働とは理解する事から始まり、成果につながっていくものと思う。この場を活かせれば良くて、これが自治協のあり方でもあると思う。私にはできていないが、積極的に関わろうとする姿勢が大事。</li> <li>・地域及び区全体の課題問題を提起し、その現状を把握する事、現地調査、関係者への聞きとり調査など、問題の本質を見極める作業が重要。そして実情を理解した上で議論し、行政と委員がタイアップし、その解決をはかっていく。机上の議論や行政の一方的な報告のみでは掘り下げる事は難しく、実のある議論は出来ない。</li> </ul>	高島委員
役割分担の必要性	自治会・コミ協との連携はどうあるべきか		1号委員が本会の報告をしながら、コミ協との連携を図る。	寺瀬委員
役割	区全体の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・審議すべき共通の課題、テーマをどう掘り起こすか</li> <li>・課題に特化した会議体は必要か</li> <li>・自治協を活性化するにはどうしたら良いか</li> </ul>	「自治協は合併建設計画の実施のために作られた」「区共通の課題がなくなってきた」等、明らかに誤解からくる意見がある。地方創生、地域包括ケアシステム作り、商店街や農業の振興など、地域で検討しなければならない問題は増えており、自治協の果たすべき役割は大きくなっている。	坂井委員
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近区役所移転・BRT等共通の課題が無い。</li> <li>・共通の課題を話し合う場が必要。</li> </ul>	沢田委員
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政のプロたる市側から今何が問題なのか、西区の課題や分野別に自治協委員に投げかけて議論を仕掛ける必要あり。そもそも何が問題かわからない。短期、中期、長期に分けて行政から説明、提起が必要。議題は地域限定の課題だけでなく、社会的な問題、人口減対策、働き方、障がい者との共生などなど、意見を述べ合い、議論する事も自治協のあり方だと思う。マンネリは打破しないとイケない。</li> <li>・提案事業イベントにどこまで関与するか検討の余地あり。何を提案するか大事な仕事だと思うが、その運営や段取りは行政に一任で良いのでは。本質の議論を深める時間が大事。</li> </ul>	高島委員
調整役としての機能	行政と協働して各種団体の調整をどう図るか		行政と協働して各種団体の調整をどう図るかという調整役としての機能については、ケースバイケースではありますが、意図的に統一する必要はないと考えます。活動は重層的に行われてこそ意味があると考えます。	大谷委員
			コミ協会長会が調整役を担えるのではないかと。	寺瀬委員
行政からの報告	地域への周知方法として自治協の場が適当か		報告事項が多いと思う。全市の問題は、報告を受けて意見を言っても変わらない。であれば資料の配布だけでいい。もっと区に係わる問題で議論の時間が欲しい。	坂井委員
			行政からの報告事項の周知については、直接的には自治会と考えますが、同時に自治協議会への周知は、同時進行で良いのではないかと。後先は問わない。	大谷委員
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域への周知は、自治会長が最も相応しい。</li> <li>・1号委員として得た情報は多い。</li> </ul>	寺瀬委員
自治協提案予算の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施の是非は</li> <li>・委員自身が企画から実施主体まで担う必要があるか</li> <li>・予算要求のあり方はどうか</li> </ul>		「500万円の予算の消化が先にあり、予算消化のためにマンネリになっている」「実施主体となるのは負担が大きい」という意見は本末転倒。地域で取り組むべき問題はたくさんある。このような意見が出ると予算の削減になりかねない。自治協委員の負担が大きいのなら、もっと多くの住民の力をどう引き出すかだ。	坂井委員
			「実施の是非」、「委員自身が企画から実施主体まで担う必要があるか」という検討の方向性に疑義があります。自治協提案予算は役割の明確化と連動しますので、積極的に活用すべきであると考えます。唯一の自治協権限を後退させる必要はない。寧ろ増額すべきことを議論すべきであると考えます。	大谷委員
			予算500万円は、各部会で前年度に予算要求して、4月から事業実施になるようにすることが望まれる。	寺瀬委員
自治協の周知	有効な市民周知の方法は		<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接委員として関係しないと、「お任せ」になるのは、どんな時もある。より身近に感じてもらうには、時間がかかる。</li> <li>・周知には、委員になって頂くのが一番。</li> </ul>	寺瀬委員

大項目	小項目	検討の方向性	意見	委員名
委員	任期	・委員の任期を延長することの是非は ・委員が発言できるようにするにはどうしたら良いか	役割を厳選し、より多くの区民に参加して頂けるよう任期は、2年2期を限度とした。	寺瀬委員
	委員の選考	・委員に専門性は必要か ・議論のできる委員を選出するにはどうしたら良いか ・今までどおりの委員選出方法で良いか	公募委員は3～4人（男女混合）が望ましい。（区の事業に関心があって参画しているから）	寺瀬委員
	委員の能力向上	委員のスキル向上にどう取り組むか	自治協全体の委員研修会の他に、それぞれ区毎の研修会があってもよい。	寺瀬委員
			住民のニーズを伝えるため常にアンテナを立て、また自ら学んでいく姿勢が委員に求められると思います。	高橋伸絵委員
若年層の確保	若年層の意見を取り込むためにはどうしたらよいか	悲観的ではありますが、理想と現実を考える必要があると考えます。まずは会議に参加すること（参加できること）、積極的に意見を発して下さらなければ若年層を起用した意味がないと言えます。	大谷委員	
		若い世代が必要と考える。	寺瀬委員	
運営方法	会議の工夫	・コミ協が活発化するにはどうしたら良いか ・開催日時は妥当か ・議論がしやすい環境づくりを行ってはどうか（再掲）	・会議の開催時間の工夫（午前、午後、夜間、平日、休日）。 ・会議の座席の工夫	寺瀬委員
			少人数で部会の隔てなくグループ討議する機会も全員参加の意味で有意義に思います。	高橋伸絵委員
その他	その他	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西区自治協で選出委員単位（1号委員、2号委員、…）の意見交換会を開催し、委員としての意思統一や役割を認識する機会の計画。</li> <li>・これまでの委員に、実施している事業について意見を聞く。立場が変わると感じ方や見方も変わる。</li> <li>・若い世代に関心を持って貰うには、広報紙やホームページ以外の手段の工夫が必要。自治協の講演会は、高齢者に向いている。若い世代に発信するために、工夫をしても集まるか、興味を持って貰えるかは不透明。</li> <li>・事務局の事務の軽減。次回会議案内は次第の下段に入れ改めて案内は不要。出席を前提として、欠席者は個々に連絡する。部会についても同様。スポット参加は個々に連絡。会議予定も年度はじめのみ。</li> </ul>	寺瀬委員